



スギヨウのまめちしき ごしょうかい



2月号
作成者：金島 秀平

浴室の水栓を長く使い続けるには

「サーモスタット混合水栓」が主流になっています。



ボタン式



アーチ式



レバー式

サーモスタット混合水栓にすると、
力が中々入らない方でも**ボタンのタイプやレバーで出すタイプ**があるため、
2ハンドル混合水栓からサーモスタット混合水栓に変える方もいます。

～サーモスタット混合水栓の使い方～

★給湯器の設定温度は希望の吐水温度より高めにする

例えば…40℃のお湯を出したいときは、給湯温度の設定を
「40℃より高い温度設定」をして下さい。
快適な吐水温度を確保するために50℃～60℃の設定を
TOTOさんはおすすめています。



サーモスタット混合水栓の仕組み

・レバー操作で内部の部品が温度
を感知し、「お湯」「水の量」を
自動で調整できます

ちゅうい!

使い方を誤ってしまうと寿命
を縮めてしまう可能性があります。

給湯器の温度を37℃～42℃にし、水栓を40℃でお湯を出そうとすると、わずかな温度差を水で微調整しますが、水栓の部品に大きな負荷を与えてしまいます。逆に給湯器と水栓の温度差が10℃以上あれば、多くの水で温度調整をするため負荷が小さくなります。

★さいご★

寒さが続きますので、皆さま体調には十分に気を付けてください。

花粉症の時期にも近づいていますので、お薬を飲む際は気を付けてください。



★おしらせ★

リンナイ様の商品が2025年5月から値段が上がりますので、改めてご確認の程宜しく
お願い致します。